

令和7年度 創作童話「灯（あかり）にまつわるおはなし」表彰式

令和7年度は、亀山市にゆかりのある伝統文化「灯おどり」や地場産業「ローソク」に関する「灯」をテーマに設定しました。応募総数は86作品で、審査の結果、入選作品に選ばれた6作品の表彰式を令和8年1月24日に行いました。

第2部は、おはなしのひろばのカーテンを閉めて、LEDキャンドルを灯し、揺らめく灯のあたたかい雰囲気の中で、おはなしの読み語りを楽しみました。

入選者への副賞には、亀山市の特産品をご用意しました。また、櫻井審査員が属する亀山絵本と童話の会さんから「今後の創作の参考にしてください」とご提供いただいた、過去に発行した創作童話集「おはなしワンダーランド」も入選者の方に1冊ずつお渡ししました。



入選作品

最優秀賞

コモモのランタン 雛鳥 雪花さん

優秀賞

ねこの灯まつり 渡辺 やすしさん

街灯おじい CHIAKIさん

マイとミイのあかり屋さん 山守 美佳さん

小さなチュウくんからの 伊東 里緒さん

大きなプレゼント

ほとけ様が、ふーってした 青木 悦子さん

審査員

コマヤスカン（絵本作家）

田中 聖子（三重大学、皇學館大学非常勤講師、
絵本専門士）

櫻井 可美（三重児童文学の会代表、亀山絵本と
童話の会会員）

北川 恵美子（亀山市教育委員会事務局職員）

高重 京子（亀山市立図書館長）



受賞者のコメント

山守 美佳さん
テーマ「灯」がすてきだと思いました。あたたかい表彰式をありがとうございました。



伊東 里緒さん
ねずみが大好きなので、主人公をねずみくんにしました。読み語りは緊張しましたが、いい経験になりました。



青木 悦子さん
お寺の本堂での体験を元に描いてみました。楽しく朗読ができて良かったです。



表彰式の欠席者2人の作品は、
（一社）日本朗読協会の原田 里美さんの代読でお披露目をしました。



渡辺 やすしさん
ジャングルジムが櫓だったら…。猫たちが集まって踊り出したら…。そんな空想をおはなしにしました。
表彰式の後に送ってもらった、手づくりの冊子にしてくださいました作品は一生の宝物です。いつか亀山の灯おどりを訪れてみたいと思います。（令和8年2月16日伊勢新聞より）

～新聞紙面で山形県からご投稿の記事を見つけて、驚きました。スタッフの大きな励みとなりました。～

CHIAKIさん

昨年、亀山のローソクを知る機会があり、「灯」のおはなしに応募しました。
賞状に同封された品々には「市愛」がぎゅぎゅり詰まっていて「なんてステキな地域♡」と感動しております。



CHIAKI

「コモモのランタン」

森の湖のほとりにある家に、クルミばあさんが一人で住んでいました。クルミばあさんには、コモモという名前の孫娘がおりました。コモモは、森の中一人きりで暮らすクルミばあさんのことを心配して、毎晩家まで訪ねていました。コモモの持つ灯油ランタンの丸い灯りが窓に映ったら、それが合図です。

今日も夜の深まる時間に、リビングの窓に灯りがぼつと映りました。ちょうど、クルミばあさんが紅茶の準備をしていた時です。

「いらっしやい」

「こんばんは、おばあさん。お邪魔します」

二人は、いつもと同じ挨拶を交わしました。けれどそこに、いつもと違うことがあります。コモモの持っているランタンです。コモモの顔より大きく、真っ白な光を放っているそのランタン。千夜油（千日間火を灯せる油）を使ったとしても、ここまで明るい光は出せないでしょう。不思議に思っ、クルミばあさんは尋ねました。

「そのランタンは、新しく買ったの？」

「いいえ。空のお月様をとってきたんです」

ふと見上げてみますと、今日は雲に隠れて夜空がよく見えません。クルミばあさんは、コモモが楽しい話を聞かせてくれたことが嬉しくて微笑みました。

それからコモモは、テーブルの上に自分が持ってきたバスケットの中身を並べました。これも二人の間ではいつものことで、コモモの持ってきた果物のお菓子を食べながら紅茶を飲むのです。

しかし、ここでもいつもと違うことが起こりました。その日コモモが持ってきたものは、にんじんクッキー、にんじんタルト、にんじんドーナツ……と、なぜかににんじんを使ったお菓子ばかりだったのです。「コモモは、にんじんが好きになったの？ それじゃあ、明日はばあさんが、にんじんケーキを作って待っていてほしいよかね」クルミばあさんのアイデアに、コモモは笑顔でうなずきました。ささやかなお茶会を終えて、コモモは家へ帰っていききました。

それから程なくして、クルミばあさんの家の扉を誰かが叩きました。クルミばあさんが扉を開けると、なんとそこには、先程帰ったはずのコモモが立っていたのです。おおよそ、コモモが忘れ物でもして取りに戻ってきたのだらうとクルミばあさんは思いました。しかし、ここにいるコモモは

「こんばんは、おばあさん。お邪魔します」

とまるで今日初めて会うように、いつもの挨拶をするのです。それに、「コモモの持つランタンもいつもと同じものでしたし、バスケットの中身も、まだ手付かずの状態でした。

クルミばあさんは、首をかしげました。

「ねえ、おばあさん。今日は月が綺麗よ」

コモモに促されて外へ出てみると、先程かかっていた雲はどこへいったのでしょうか。空ははるか遠くまで澄み渡り、先程のコモモが持っていたランタンのような月と、その表面にうさがぎが浮かんでいました。

子どもの時から、おはなしを描くことが好きでした。隣の三重県の図書館主催のコンクールを身近に感じ応募しました。

最優秀賞に選ばれるとは思っていませんでした。とても嬉しかったです。

表彰式や読み語りの機会を設けていただき、自分の作品が多くの方に読んでもらえることにつながったことを喜ばしく思います。

雛鳥 雪花



自筆証書遺言書保管制度について

令和8年1月16日開催

津地方法務局の職員を講師にお迎えしてセミナーを開催しました。遺言書を法務局で保管する手続きやエンディングノート の書き方を学びました。

参加者の声

- ・自分の人生を見つめ直すきっかけとなった。
- ・次は、遺言書の書き方講座を受けてみたい。



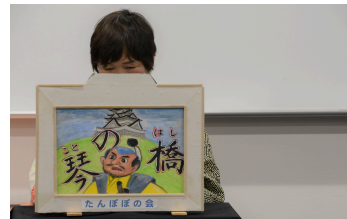
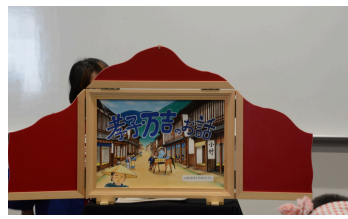
地域の民話・昔ばなし大集合

令和8年2月8日開催

関地区の民話・昔ばなしと「ヤマトタケル」が手作りの紙芝居とジャンボ絵本で上演されました。制作の経緯や製本の工夫なども語られ、参加者の皆さんに地域の魅力を知っていただくいい機会となりました。

プログラム

「正調鈴鹿馬子唄」「孝子 万吉のおはなし」 正調鈴鹿馬子唄保存会
「関の地蔵と一休和尚」「琴の橋」 関図書サークルたんぼぼの会
「関の小萬」「ヤマトタケル」 亀山絵本と童話の会



コマヤスカン トークイベント「絵本で世界を旅する」

令和8年2月15日開催

1月31日から2月23日までの期間、文化情報プラザで、コマヤスカンさんの絵本原画展を開催しました。

トークイベントでは、「講演会 絵本がができるまで」に続き、会場を移して原画と絵本を見比べながら、制作の経緯や絵本に描かれていない絵についてなど、秘密のおはなしを楽しみました。



はじめての英語多読ROOM

令和8年2月21日開催

辞書を使わずに、やさしい英語の絵本からはじめて、たくさん読むうちに大人向けの本も読めるようになる読書法「英語多読」の体験会を開催しました。亀山英語多読のつとめKatieさん持参の絵本を手に取り、じっくり絵を見ることからスタートしました。参加者同士の会話も弾み、交流の場にもなりました。



令和7年度 図書館ボランティア研修会

ボランティアの資質向上と交流を目的に図書館ボランティア団体員や個人ボランティア登録者、学校図書館関係者を対象に研修会を開催しました。

令和8年1月30日開催

講演会 「ステップアップわたしの読みかせ～選ぶ・読むの工夫 ボランティアにできること～」
講師 J P I C 読書アドバイザー 木村 由美子さん



読みかせのいいところは、読み手と聞き手が絵本を通して「共感」できること

令和8年2月20日開催

ブックコーティング研修
講師 (株)図書館流通センター 営業アシスト長井 雅子さん

本のフィルムコーティングの方法を学びました



創立150周年小学校の活動展示

3月26日（木）までの期間、令和7年度に創立150周年を迎えた小学校の活動展示を行っています。子どもたちと地域の皆さんの取り組みの様子をご覧ください。

対象校
加太小学校
神辺小学校
野登小学校
川崎小学校



発行 亀山市立図書館
亀山市御幸町318番地1
TEL 0595-82-0542 FAX 0595-82-0554

